

JRFUTY

JR貨物労組 東北地本青年部

2020年 6月7日
発行責任者 事務長

第4回交渉を終えて

第4回交渉では会社の考えが示されました。会社は「指定公共機関として社会的使命を全うする現場の皆さんに敬意を表する」としながら、「昨年夏の基準額を基本として、どれだけ上積みできるか」を収入動向を見極めて回答指定日に回答する」という、現時点での考えを提示してきました。

これに対し組合は、「10年連続黒字、経常利益71億円という実績が出ているのに、収入動向を見極めながら・・・とは何事か！」、「現場はコロナウイルスの緊張とストレスで疲弊しているうえに、さらに我慢を強いるのか！」、「評価面談ではモチベーションが下がるようなことまで出ている。今こそ青年部員のモチベーションが上がるように再考せよ！」と訴えてきました。

**各職場でも要請行動を実施し、それに参加し、
私たち青年部員の声を訴えかけましょう！**